

令和4年4月13日発行

いよいよ新しい学年の授業が始まります。1年生は、小学校との授業の違いに戸惑うかもしれません。学習の基本は、授業にあります。授業のポイントを意識して、学習内容の理解度を高めていこう！



授業の受け方5つのポイント

1 先生の話や友だちの意見をしっかりと聞き、自分の意見も伝えよう。

勉強はインプットもアウトプットも大切。対面の授業では「インプット7割、アウトプット3割」の割合がよいと言われています。先生がどんなことを話しているのか、友だちはどんな考えをしているのか、どんどん吸収していきましょう。これがインプットです。すると、自分の中に色々な知識が蓄積して、より考えが深まりますね。そして、その深まった考えを、友だちに説明してみましょう。これがアウトプットです。「自分の言葉で説明できる」ことで、学習内容の定着が高まります。

2 学習内容を他の人に教えるつもりで、授業中に理解する。

何事も目的意識を持って取り組むと上達が早い。今日はどんなことをやるのかしっかりと掴み、**授業で学習した内容を他の人に教えられるまで理解しよう。**(自分が授業をする先生になれるくらい)人に教えるためには、授業で疑問に思ったことは、その場ですぐに質問したほうがいいですね。「鉄は熱いうちに打て」です。

3 ノートは黒板を写すだけでなく、先生の話やポイント、自分の考えのメモを書き込んでいく。

ノートをカラフルにデコレーションすると一見、「勉強」をしているように感じられますが、それが写すだけの「作業」になってしまっている人も多いです。「きれいに書くことを優先して、授業で先生や友達の話を聞いていない」なんてことはありませんか？読めない字では困りますが、字がきれいだから、カラフルだから美しいではなく、**「自分の考えや気づきが自分だけの法則でまとまっているから美しい」というノートを目指しましょう。**後から読んで、ポイントが一目で分かるノートを作りたいですね。

☆ノートの工夫の例☆

- ①色：「色数が多い」より「色に意味」(赤：重要、青：ポイント、気づき など)
- ②余白：「少ない」より「多い」(余裕を持って書こう)
- ③板書：「ただ写す」より「重要な所にイラストや吹き出し等で強調を」

4 授業のふり返しをして、自分の授業の理解度を確認する。

2の内容にも関係しますが、授業の終わりに、**授業の内容を振り返って、自分の理解度を確認しましょう。**「〇〇の部分がよく分かった」「〇〇の部分が分からない」のように、具体的に考えられると、【質問力】や5の内容に関連する、今日はここを復習しようという【学習調整力】がアップします。

5 授業中に今日、家で復習する箇所をチェックしておく。

今日、家で復習する所を考えながら授業を受けましょう。「ここはちゃんと理解できたかあやしいな」とチェックしておく、家での復習ポイントが掴めて、後がとても楽になります。また、2でも書きましたが、できるだけ授業で理解できてしまう方がよいです。授業中に復習する場所をしっかりと選ぼうと思いつきながら、先生の話の聞くとそれだけでも集中力があがります。

授業の時間はみんな平等に50分。この積み重ねが、後々大きな差になります！！